

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
214	107	2018	11月18日	パナソニックの執行役員、ジャズ・ピアニスト	小川理子	一度活動を休止したブランドのテクニクスを復活を任された心境や、3つの全く違うセクションを歴任しつつミュージシャン活動と両立しながら女性執行役員として任命されたときのプレッシャーなど
213	〃	2018	11月11日	〃	〃	育った環境についてや、大学で理系を専攻した理由、就職先にパナソニックを選んだ理由などについてお伺いしました。学生時代の夜中の解剖体験、音楽の道を当初生業にしなかった理由などについても
212	106	2018	11月04日	数学者	藤原正彦	海外で学んだことが数学を学ぶために役だったこと、日本人が持つ美的感受性の大切さ、最近の日本人を見ていて感じる事、今こそ見直すべき日本の品格の在り方など
211	〃	2018	10月28日	〃	〃	武者修行でアメリカに留学先での生活や、アメリカ人との恋愛エピソード、帰国後大ファンだった歌手がきっかけで発展した奥様との恋愛話など
210	〃	2018	10月21日	〃	〃	両親は作家の新田次郎氏(直木賞受賞)、藤原てい氏。ご自身でも多数上梓され、国家の品格はミリオンセラーとなっている。今回は、幼少時の満州からの引揚、数学の魅力と美しさなど
209	105	2018	10月14日	作家	荒俣宏	博物学者や妖怪研究者としても知られる荒俣様が、妖怪やお化けに魅せられ、知のモンスターと云われる人生観について
208	〃	2018	10月07日	〃	〃	大学卒業後に魚が好きで入った漁業会社で任された驚きの仕事内容や、退社後「帝都物語」をヒットさせ百科事典を作るなど、意外な経歴について
207	〃	2018	09月30日	〃	〃	小学生の頃に貸本屋で毎日のようにマンガを読みふけり、マンガ家になるのが夢だったという荒俣様が「知のモンスター」になっていくまでの人生観につきお伺いしました。語学が堪能になられたきっかけや、幼少期の転居の話なども
206	104	2018	09月23日	ダンサー	田中泯	招聘され80年代にフランスや東欧などを訪れた際の決意や現地での反応、30年余りになる山梨で農業をしながらの暮らしなど
205	〃	2018	09月16日	〃	〃	田中様が踊りに興味を持たれたきっかけや、踊りにとりつかれた理由、影響を受けた師の土方異様について、街中で裸で踊った意味など。今回、踊りが田中様の人生に与えた影響や、踊りから派生した知識の習得などにもお話した
204	103	2018	09月09日	国際教養大学 学長	鈴木典比古	アメリカの複数の大学や国際基督教大学学長を経て現職に就任して感じていることや、今、日本の大学に求められている世界基準のカリキュラムなど
203	〃	2018	09月02日	〃	〃	すべて英語でおこなう少人数の授業や、全学生に1年間の海外留学を義務づけるなど、ユニークな教育方針の中身や、世界に向けて知識と経験を持つ人材を秋田から出す意味など
202	102	2018	08月26日	元大関・歌手	増位山太志郎	甘いマスクと歌声で、現役時代に歌手としてデビュー。「そんな女のひとりごと」が、ミリオンセラーの大ヒット。歌のみならず、絵画も二科展の常連。相撲ばかりではなく人生の節目節目に必ず寄り添っていたお父様の話など
201	〃	2018	08月19日	〃	〃	角界入り前は競泳の五輪選手を目指し、歌手になることも夢見た少年が、父親のしこ名を継承。角界初の親子大関の偉業を達成するまでの現役時代について
200	101	2018	08月12日	ソプラノ歌手 (ほんの一握りしかない歌声「コロラトゥーラ」の持ち主)	田中彩子	高校生でウィーンに留学し何も分からぬまま語学学校からスタート。恩師に云われて歌のレッスン以外で始めた意外なチャレンジや、歌手デビューするきっかけとなったコンクールでのエピソードなど
199	〃	2018	08月05日	〃	〃	高校生の時にウィーンに渡り22歳でスイスを代表する劇場で日本人初、最年少のソリストデビューを果たした歌手人生について
198	100	2018	07月29日	映画作家	大林宣彦	映画を作っているのではなく、映画で敗戦と復興のフィロソフィー(哲学)を伝えていると仰る大林様に、まだまだ衰えていない映画への意欲など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
197	〃	2018	07月22日	〃	〃	戦前は純粋な軍国少年で、戦後は「敗戦少年」「平和孤児」となると仰る大林様が、フィルムアーティストで生きていく決意をした意味について
196	〃	2018	07月15日	〃	〃	幼少期、実家の蔵の中で見つけた映写機を蒸気機関車に見立てて遊んだことがきっかけで3歳で映画を作った頃のエピソードなど
195	99	2018	07月08日	お化け屋敷プロデューサー	五味弘文	日本で唯一「お化け屋敷プロデューサー」を名乗るようになったきっかけや、最新の音響や映像技術も取り入れながら人間が演じる「生身のお化け」にもこだわり、背筋も凍る怪奇の館を創り続ける人生観など
194	〃	2018	07月01日	〃	〃	これまでの納涼お化け屋敷のイメージから一新、25年余りにわたって予想外の恐怖を演出、大勢を絶叫させてきたお化け屋敷のプロフェッショナルに、最新のお化け屋敷事情など
193	98	2018	06月24日	作曲家	浜圭介	森昌子様をイメージチェンジするための曲を作った時のエピソードや、大ヒット曲「そして神戸」「街の灯り」「雨の慕情」などの誕生秘話。浜様がこだわる作曲作法や、歌謡界のこれからについて
192	〃	2018	06月17日	〃	〃	札幌で高校在学中に知人が応募したオーディションに合格。歌手から作曲家に転身した経緯や、当時40万枚のセールスを記録した大ヒット曲「終着駅」「石狩挽歌」「哀しみ本線日本海」「舟歌」などの誕生秘話
191	97	2018	06月10日	東京大学総合研究博物館教授	遠藤秀紀	遺体との格闘であり遺体の中に手を入れて触ってみたいと分からない発見や、死体を見る解剖学は、過度の経済合理性優先の圧力で、研究対象となる資料や標本の維持がきわめて難しくなっていると云う現状について
190	〃	2018	06月03日	〃	〃	死んだ動物を解剖し進化の歴史を研究しながら、将来の研究に役立てるため標本に残す「遺体科学」についてや、自分の手で動物の秘密を解き明かすことになった原体験について
189	96	2018	05月27日	作家(大田区の町工場で長年旋盤工を務められながら作家を務め、直木賞、芥川賞候補にもノミネート)	小関智弘	日本のものづくりを支える東京都大田区内の町工場で長年旋盤工として働きながら自らの労働体験に根差したノンフィクションや、同人誌に小説を執筆してきた人生観など
188	〃	2018	05月20日	〃	〃	機械やコンピュータがいくら進歩しても出来ない職人技。材料を見て、旋回させ、適切な位置にブレ止めをかけてからやらないと出来ない、長い経験と多くの失敗の積み重ねがあって初めてできる旋盤工の職人技について
187	95	2018	05月13日	ダイヤ精機社長 (大田区の町工場・NHKドラマ「マチ工場のオンナ」の原作者)	諏訪貴子	社員たちから「あなた以外、後継者はいない」と請われ、親の町工場の事業継承を決意。当初の経営難を脱し、若手職人の養成に尽力した上、リーマン・ショックも乗り越え黒字化を果たすなど、その手腕が注目を集めるようになるまで
186	〃	2018	05月06日	〃	〃	32歳で育児やパートに追われる主婦だったが、父親の求めで町工場に2度入社し、2度解雇された経緯など波瀾万丈人生について
185	94	2018	04月29日	人気グルメ雑誌「dancyu」編集長	植野広生	学生時代から、銀座のキャバレーで黒服バイトしたほか多数のアルバイトを経験。新聞記者などを経て、経済誌の編集を経験後、様々な雑誌で食に関する記事を執筆。その後グルメ雑誌の編集長になるまでの人生観
184	〃	2018	04月22日	〃	〃	出版不況の逆風を押しつけ、発行部数を伸ばしている雑誌「dancyu」。一般読者だけでなく料理人たちからも絶大な支持を得ている理由や、創刊直後からdancyuに携わってきた食いしん坊を地で行く人生観
185	93	2018	04月15日	ピアニスト(日本におけるショパンの第一人者)	遠藤郁子	45歳で乳がんが見つかり一時は死を覚悟する中、ライバルでもあった母が死去。輝かしい功績と離婚、借金、自死など、波乱に満ちた人生
184	〃	2018	04月08日	〃	〃	母にピアノを習い、母を死なせるものかと必死でピアノを練習したエピソードや、ポーランドやフランスに15年間留学し、ピアノに生涯をささげてきた人生観など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
183	—	2018	04月01日	俳人 金子兜太	2月20日にご逝去された俳人の金子兜太様を偲び、追悼企画として2009年11月10日に収録した音源を再編集し、お届けしました。金子様には同年12月6日と13日に出演いただいております。当時100歳まで生きて仰っていた金子様の健康法や、日本銀行に在籍しながら俳人の道歩んだ人生観など	
182	92	2018	03月25日	最強将棋ソフト「PONZNZA」の開発者 HEROZ(ヒーローズ)株式会社リードエンジニア	山本一成	進学校から東京大学に進んだという山本様の将棋はアマ五段の腕前。理系でもパソコンは苦手、数カ月間必死で勉強して最初のソフトを完成させたが、出来栄は散々で、なかなか人間には勝てなかった・・・
181	〃	2018	03月18日	〃	〃	理系だがパソコンは苦手、数カ月間必死で勉強して最初のソフトを完成させた時の話から、佐藤天彦名人を破った将棋ソフト「PONZNZA」の開発秘話など
180	91	2018	03月11日	俳人	夏井いつき	俳句の都で知られる愛媛県松山市で俳句を始めて俳人になったいきさつや、ラジオで俳句の種まき活動を長年続けてこられた夏井様が今進めている企画などについて
179	〃	2018	03月04日	〃	〃	俳句の添削をわかりやすくするなどバラエティ番組でもお馴染みの夏井様。5分で一句作ることから始めたという俳句の魅力や、楽しみ方について
178	90	2018	02月25日	絵本作家	のぶみ	両親が牧師の家庭で育ち、小学生の頃のいじめや2度の自殺未遂、高校時代の荒れた生活からチーマーの総長になった頃の話や、奥様との出会いがきっかけで始まった今の仕事に繋がる絵本づくりなど、人生観につきお伺いする予定です。
177	〃	2018	02月18日	〃	〃	38歳にして人気者になった背景や、絵本業界では異例の販売部数を達成出来た理由、「母の死」をテーマに親子の絆を描きベストセラーになった作品が出来
176	89	2018	02月11日	スタイリスト	原由美子	ファッションの楽しさを伝えるため生涯現役を宣言しながら、長年パリ・コレクションに通い、最新のモードを紹介してきた人生観についてお伺いする予定です。
175	〃	2018	02月04日	〃	〃	1970年代創刊の有名女性誌などの誕生にかかわった頃のスタイリストの仕事についてや、旅や食などとともにライフスタイルとしてファッションを提案する仕事に
174	88	2018	01月28日	俳優	前田吟	子供の頃苦勞し、俳優になろうと思った経緯や大阪で働きながら夜は演劇学校へ行き、その後上京して俳優座養成所に入り俳優デビュー、今日までの人生について
173	〃	2018	01月21日	〃	〃	映画『男はつらいよ』で寅さんの妹さくらの夫の博を演じてきた前田様。寅さんこと故・渥美清さんとの思い出や『男はつらいよ』の舞台裏について
172	87	2018	01月14日	東海大学教授・スポーツ心理学者	高妻容一	数々のオリンピック選手やプロ野球選手を指導してきたスポーツ心理学の第一人者に、2020年に開催される東京オリンピックを前に、海外と比べ日本の選手の方が練習時間は長いのにオリンピックなどでなかなか勝てない理由について
171	〃	2018	01月07日	〃	〃	科学的メンタルトレーニングを80年代にアメリカで学んだ経緯や、帰国後、日本でその普及活動で苦勞したことなど
170	86	2017	12月31日	エッセイスト・俳人	吉田類	各地の酒場を放浪する人気番組のナビゲーターとして知られるようになるまでや、画家になる夢を携えてパリへ行った当時の旅の話などにつき
169	〃	2017	12月26日	〃	〃	酒場のカリスマに大人飲み美学や、ハンチング帽をかぶり全身黒ずくめのスタイルへの拘り、酒の楽しみ方や健康法、独自の酒の肴の調達方法など
168	85	2017	12月24日	総合卸商社エトワール海渡社長	早川謹之助	美大を卒業後、アメリカでデジタルデザインを学び、帰国後はデザイン事務所を起業。異色の経歴の持ち主の早川さんが、100年を超える歴史をもつ現金問屋の7代目に就任した経緯や、チャレンジなど

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
167	84	2017	12月17日	落語家	古今亭文菊	理不尽さに耐えてきた苦勞の経験が観客の共感を得られる人柄となつてにじみ出るのが噺家だと仰る文菊様。古典落語の想像の世界に浸ってもらうために努力していらっしゃることや、落語において最も大切なことなど
166	〃	2017	12月10日	〃	〃	落語界に入った当時から、10年目にして先輩28人を追い越す大抜てきで真打ち昇進を果たすまで
165	83	2017	12月03日	小説家(直木賞など様々な賞を受賞され中国の古代史と小説の第一人者)	宮城谷昌光	意外なことがキッカケで夢の小説家デビューしたときのエピソードや、人物描写が面白いため長編でありながらも引き込まれる作品の魅力
164	〃	2017	11月26日	〃	〃	若い頃から小説家になりたかった宮城谷様が努力されてきたことなど
163	82	2017	11月19日	シナリオライター (極道の妻たちシリーズ、仁義なき戦いなど)	高田宏治	「極道の妻たち」シリーズなどで、女優が主演を演じるようになった経緯や、シナリオライターとして女優に云わせる啖呵を考案したときのエピソードなど
162	〃	2017	11月12日	〃	〃	「鬼龍院花子の生涯」「極道の妻たち」シリーズなどを手がけられてきた高田様に、任侠映画と実録ヤクザ映画の違いやシナリオを書くための取材法や、夏目雅子様を起用した裏話など
161	81	2017	11月05日	国際NGO「WCS」(野生生物保全協会) 技術顧問	西原智昭	アメリカのNGOに現地採用された経緯や、知人のアメリカ人から「日本人が象牙を使っているからマルミゾウが減る」と諭され、日本人で唯一、コンゴ共和国に住みながら保護活動に取り組む生活について
160	〃	2017	10月26日	〃	〃	コンゴ共和国の熱帯雨林に生息するマルミゾウをおよそ20年にわたって調査研究、保護活動の実際やその意味など
159	80	2017	10月15日	沼津港深海水族館館長	石垣幸二	「魚のスペシャリストになりたい」と海外への憧れと海への愛着から起業。人との巡り会いから世界28カ国の水族館に希少な海洋生物を納入するまでになった経緯など
158	〃	2017	10月08日	〃	〃	「海の手配師」と呼ばれ、国内はもとより世界各地から海洋生物の受注を受け、捕獲から発送までを請け負うビジネスについて
157	79	2017	10月01日	由紀精密社長 (V字回復で宇宙目指す茅ヶ崎市の町工場)	大坪正人	金属切削加工で、航空機や人工衛星の部品をJAXAや海外の大手メーカーなどに納め、経営危機にあった会社の業績をV字回復させて伸ばし続けてきた3代目の人生観など
156	〃	2017	09月24日	〃	〃	ネジ製造から始まり、公衆電話のカードリーダーの部品を作る下請けだった町工場が、およそ10年で大企業に引けを取らない町工場に成長、航空宇宙産業に挑戦するまでについて
155	78	2017	09月17日	女優	白石加代子	公務員を辞め25歳で早稲田小劇場に入団。演出家の鈴木忠志氏の下、看板女優となり「憑依の女優」や「狂気女優」ともいわれ、元劇団員と結婚、退団。蜷川幸雄氏をはじめ多くの演出家との「自我」取り外して舞台を楽しむ女優人生な
154	〃	2017	09月10日	〃	〃	怖い話や不思議な話を集めた朗読シリーズ「百物語」を2014年に終えた白石様。22年がかりの仕事を完結させるまでやライフワークとしてきた舞台への思いについてなど
153	77	2017	09月03日	漫画家	ヤマザキマリ	中学生の時に単身ヨーロッパを旅行後、17歳でイタリアに美術史と油絵を学びに留学。27歳のときシングルマザーとして出産後、日本に帰国し、漫画家デビュー。イタリア人と結婚後も夫の仕事の関係で、中東やポルトガル、アメリカに住むなど、国境にとらわれない生き方を体現してきた人生観など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
152	"	2017	08月27日	"	"	14歳でヨーロッパを独り旅し、17歳でイタリア留学、その後もシリア、アメリカなどに住んだ後、1997年に漫画家デビュー。その後、古代ローマと現代の日本を舞台とした人気作品「テルマエ・ロマエ」の誕生秘話など
151	76	2017	08月20日	ホテルオークラ東京ショッピングアーケード「SHOE SHINE」オーナー/靴磨き職人	井上源太郎	1960年代、都心の別のホテルでアルバイトとして始めた靴磨きの腕が評判をよび政治家、ジャイアント馬場様など、国内外の多くの著名人が信頼を寄せ、靴磨きを依頼されている。往年の名女優オードリー・ヘプバーンも来日時に何度も訪れたというエピソード、長年、古くからのお客様を大切にこられた接客の極意
150	"	2017	08月13日	"	"	革質や履き心地を研究するために100足以上の革靴を買い集めたと云うこだわりや、500人以上の固定客を抱え、靴を一目見れば、誰のものか、いつ購入したかがすぐわかるという職人技など
149	75	2017	08月06日	元プロテニスプレイヤー	杉山愛	世界の有名選手の中で印象に残っている選手とその方の魅力、世界各地でツアー生活をするテニスならではの選手生活。引退後、自分のやりたいことをリストにした心境など
148	"	2017	07月30日	"	"	プロを引退して8年。プロ選手生活を振り返ると共に、スランプ状態の日々やテニスを辞める決意までした杉山様を救った母の言葉など
147	74	2017	07月23日	円谷プロ社長	大岡新一	脚本家の金城哲夫氏らが考えたウルトラマンシリーズの根底にある哲学。大岡氏が大学卒業後、家族の大反対を背にこの世界に入った経緯や、巨匠カメラマンの助手について勉強し特撮カメラマンになるまでの日々。そして、円谷プロの社長に上り詰めるまで、人生観などについて
146	"	2017	07月16日	"	"	ウルトラマンシリーズが50年余り続いている背景や円谷英二への思い。円谷プロのスタッフ達が初めて特撮技術に取り組んだ当時の苦労話や、制作を16年間休止した経緯や、撮影を再開した時期の話など
145	73	2017	07月09日	ジャズシンガー	綾戸智恵	アメリカに憧れ費用を稼ぎ反対する母親を説得して渡米、20年近く日本とアメリカを行き来する生活をしているうちに結婚、出産、そして離婚。34歳で帰国後、色々な職業を転々としながら、デビューするまでの日々について
144	"	2017	07月02日	"	"	3歳の頃、紙の鍵盤のピアノとの出会いから「ピアノごっこ」を始めたという綾戸様。小学生の頃、音楽に興味を持つキッカケになった曲についてや、恩師との出会いなど
143	72	2017	06月25日	キャスター	国谷裕子	激動の時代にワールドニュースのキャスターを担当してきた国谷さんが心機一転。多岐に渡るジャンルを扱う番組「クローズアップ現代」を担当する決意をした理由や、「クローズアップ現代」でキャスターとして拘ってきたことなど
142	"	2017	06月18日	"	"	子どもの頃から海外を行き来する生活していた国谷様がアメリカの大学を卒業後、帰国して日本の会社に就職するもすぐに退社し、世界一周旅行に出かけたこと。その後ジャーナリズムの世界に興味を持つようになっていった経緯など
141	71	2017	06月11日	フォーク歌手	高石ともや	アメリカに行って感じたこと、ボブ・ディランの歌を、替え歌にして誕生したヒット曲。哲学者の鶴見俊輔様に言われた忘れられない一言や、奥様との出会い。永六輔様と長年続けてきたコンサートの話や、永さんのヒット曲に纏わる秘話など
140	"	2017	06月04日	"	"	ボブディランの曲を日本語にして歌ったことについてや、ホノルルマラソンを40会連続完走されているライフワークのマラソンの話、時代を写す歌にこだわってきた理由。1970年学生運動が終わり、渡米して人生観が変わったという曲などもナマ歌を交えながら伺う
139	70	2017	05月28日	俳人、文筆家	堀本裕樹	当初、小説家を志していたが俳句の世界の奥深さにハマっていった理由や、俳句を通じて知った「季語」の素晴らしさなどについて

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
138	69	2017	05月21日	ノンフィクション作家、近代史研究者	保阪正康	昭和を見てきたからこそ三つの区分が出来るという昭和史について、天皇を軍が抱え込んで戦争という手段を選んだ当時の日本について、さらに昭和を経て平成を迎えた今、現憲法をどう考えるべきかなど
137	〃	2017	05月14日	〃	〃	戦争について取材し始めた頃、多くの戦争体験の証言を聴きだした時のエピソードや、三島由紀夫様の自決事件が発端となり昭和史を誰よりも深く理解することを選んだ経緯など
136	68	2017	05月07日	日本パラリンピアンズ協会会長 (92年バルセロナから2012年ロンドンまで、6大会連続出場で金5個を含む計21個のメダルを獲得)	河合純一	視覚障害者が初めて普通科公立中学校教師になったときの話や、中学校を辞めて大学院に進学して分かったと云う障害者に対する偏見や、「障害は個性」という考え方、「目が見えずに泳ぐことは人生に似ている」と感じたというそのときの思いなど
135	〃	2017	04月30日	〃	〃	現実を拒んでいた時期についてや、目が見えないことに対する葛藤を乗り越え、92年バルセロナから2012年ロンドンまで、6大会連続出場で金5個を含む計21個のメダルを獲得するなど、パラリンピックに向けての独自の練習法など
134	67	2017	04月23日	棋士(将棋・史上最年長棋士として現役)	加藤一二三	対局の流儀として、必ず食事にうな重を食べる理由や、棒銀戦法を40年間刺し続けても飽きない訳、対局中、5秒おきに残り時間を聴く理由。どんな相手を前にしても怯まない勝負師魂など
133	〃	2017	04月16日	〃	〃	子どもの頃、将棋棋士としてやっていく決意をしたきっかけや、当時の名人に掛けられた忘れられない言葉。棋士となってから、スランプに陥ったときの意外な対処法など
132	66	2017	04月09日	明治大学法科大学院教授	瀬木比呂志	順調にキャリアを積んできたのに、なぜ法曹界を辞め、その現状を批判するようになっていったのかなど
131	〃	2017	04月02日	〃	〃	東京大在学中に司法試験に合格し、裁判官になった経緯や、官僚主義がはびこっていると云う裁判所の現状や、日本の司法は欧米先進国のレベルから外れ危うい状況であるなど、リベラルアーツが軽視されている日本の司法の問題点など
130	65	2017	03月26日	東京大学名誉教授(財政学の第一人者)	神野直彦	大学闘争が一段落し再び大学院に入学、経済学に社会学を採り入れる財政社会学を提唱。税制の専門家として、最近の世界経済についてや、消費税が先送りされている日本の今の状況をどう見ているのかなど
129	〃	2017	03月19日	〃	〃	小学生の頃から芥川龍之介全集や物理学者ガモフの本を読破したという神野様。ようやく入った大学では、東大闘争のあおりで一旦卒業し、なぜか大手自動車会社に入社した経緯やその意味について
128	64	2017	03月12日	カラーコーディネーター 「色のひと®」「カラーキューレーター®」	七江亜紀	全国から1カ月で10数件の予約が入り半年待ちも珍しくないと云う今。これまでおよそ2万人の顧客を見てきて思うことや、色の専門家であり案内人である「色のひと®」になった理由など
127	〃	2017	03月05日	〃	〃	肌や髪質、瞳、骨格を踏まえて似合う色を提案するカラーキューレーターは、ファッション、食、インテリア等ライフスタイル全般のカラーコンサルティングをする。その実際の仕事や、自分の長所を引き立たせる色使いの楽しみ方など
126	63	2017	02月26日	俳優 (「5万回斬られた男」の異名を持つ斬られ役)	福本清三	「5万回斬られた男」の異名を持つ斬られ役一筋の俳優人生、トム・クルーズ主演のアメリカ映画「ラストサムライ」に出演した時の経緯や、初の主演作品「太秦ライムライト」に出演した時のエピソードなど

※ゲストの会社名および肩書等は出演当時のものです

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
125	"	2017	02月19日	"	"	
124	62	2017	02月12日	ハーバード大学シニアフェロー (元陸上自衛隊東部方面総監)	渡部悦和	中村錦之助(萬屋錦之介)様や、美空ひばり様らスターを輝かせた一方で、鮮やかな斬られっぷりでファンを魅了。この世界に入った経緯から、斬られ役としての俳優人生を歩み始めた頃について
123	"	2017	02月05日	"	"	トランプ政権の誕生によって、今後気になる米中関係、米口関係、そして日本の取るべき姿勢など
122	61	2017	01月29日	四国霊場栄福寺住職	白川密成	東京大学を卒業後、自ら自衛隊に入った経緯、幹部候補生学校での訓練についてや、35歳頃激動のドイツに留学、冷戦下のプラハや東西ドイツ軍から学んだことなど、現在の各国トップなど
121	"	2017	01月22日	"	"	住職になってよく聴かれるようになったというお布施などのお寺に関する素朴な疑問や、若くして住職になってのご苦労や心がけていること、永福寺が発信するブログ、今のお遍路ブームの背景など
120	60	2017	01月15日	作家	池澤夏樹	四国お遍路ついて、24歳で住職に転身した経緯、およそ100日間の修行後「阿闍梨」の資格を得た時の話や、尼僧でもある奥様との意外な出会いなど
119	"	2017	01月08日	"	"	世界を辺境から見つめ、文学の眼鏡と科学の眼鏡を携え旅先で執筆を続けたこと、「日本文学全集」の編集を引き受けた理由や、父で作家の福永武彦氏への思いなど
118	59	2017	01月01日	株式会社第一興商 代表取締役社長 (カラオケ業界トップ)	林三郎	30代の3年間をギリシャに住み、40代の10年間を沖縄に暮らし、60代の5年間をフランスで過ごし、現在札幌在住の池澤様に、詩や翻訳、小説、エッセーなど多くの著作物を手がけてこられた作家人生など
117	"	2016	12月30日	"	"	「うたと音楽」を活用した介護予防・健康増進への取り組み、高齢者同士の交流・健康づくりに役立てるなど健康産業でも活躍されているお話など
116	58	2016	12月25日	写真家 (日本初の女性報道写真家)	笹本恒子	カラオケ機器、ボックス店共に、業界トップの座を誇るまでになった第一興商様が、カラオケ産業でここまで発展してきた経緯や、カラオケに対する熱い思いなど
115	"	2016	12月18日	"	"	三笠宮崇仁さまのご家族の写真を、戦後間もなく撮影したときのエピソードや、女性が冷遇されていた当時、明治生まれの女性たちを撮影したときの思いなど
114	57	2016	12月11日	建築家	坂茂	マッカーサー元帥夫妻に直接声をかけて、夫妻の撮影に成功したときのエピソードや、はじめは家族に内緒でカメラマンになったエピソードなど
113	"	2016	12月04日	"	"	紛争地帯や災害現場を飛び回り「行動する建築家」の異名を持つ坂様。国際的な支援活動と、素材を生かした優美な表現を両立させ「建築の世界で稀な存在」として建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞したときの思いなど
112	56	2016	11月27日	株式会社テムザック 代表取締役 (福岡県宗像市のロボット開発会社)	高本陽一	紙、木、布、輸送用コンテナなど、弱いと云われる素材を災害現場の仮設住宅に活用されたり、ダイナミックな美術館の空間を形作られております。本来、主役にならないような材料に目を向け、制約があるからこそ広がる独自のスタイルにこだわる理由など
111	"	2016	11月20日	"	"	国内外約50の大学や研究室、さまざまな企業との連携によって技術を集約し、実用ロボットを生み出してきたテムザック。「ロボットは人間のまねをするのではなく、人間ができないことをする機械」と話す高本様の思いなど
110	55	2016	11月13日	作家	江上剛	世界各国から開発依頼や受注が舞い込む理由や、これまで開発してきた車いすロボットや、災害救助ロボット、留守番ロボットなどを、開発・商品化するまでの苦労やエピソードなど
						企業は不祥事をなぜ繰り返すのか、組織の内部にどんな問題があるからなのかなど、銀行内で「隠蔽の天才」と呼ばれていた江上様が支店長も務めた後、退行して小説家になった経緯など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)	内容	
109	〃	2016	11月06日	〃	映画『金融腐蝕列島 呪縛』のモデルにもなった作家の江上様。第一勧銀総会屋事件で混乱收拾に尽力したものの、歴代頭取も含めて十数人の逮捕者が出た上、元頭取の一人が自殺するという悲惨な事件に発展した背景など	
108	54	2016	10月29日	書道家	武田双雲	文字から性格診断をしたり、思い浮かぶ漢字一文字から心理状態を占ったり、「きれいな字を書けたら…」との思いがよぎった人に、書道を楽しむ武田双雲流の極意など。
107	〃	2016	10月16日	〃	〃	アインシュタインに魅せられ理系大学を卒業後、大手通信会社に入ったもののすぐに退社。ストリート書道から書道家の道を歩み始めた頃のエピソードや、書に魅せられた経緯など。
106	53	2016	10月09日	埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科センター長	新浪博士	順天堂大学の助教授時代に師事した天野篤氏から直々に伝授されたことや、ローソン代表取締役CEOを務める兄の新浪剛史氏から学んだことなど
105	〃	2016	10月02日	〃	〃	外科医を「職人」であり「手術は生活の一部」と考え「生活の8割は心臓外科医」と言い切る理由や、日本の心臓外科医でトップクラスの手術数をこなす中、集中力を維持する秘策など
104	52	2016	09月26日	囲碁棋士	石田 芳夫	木谷實門下で学び、独立を許されるまでの道のりや、同門の加藤正夫氏、武宮正樹氏と共に「木谷三羽鳥」と注目された頃の話や、細密な形勢判断とヨセの正確さから「コンピューター」の異名を持つまでになったエピソードなど
103	〃	2016	09月25日	〃	〃	囲碁ファンだった父の薦めで、親元を離れて住み込みで木谷實九段門下に入門。兄弟子に大竹英雄氏、弟弟子に当たる加藤正夫氏・趙治勲氏などと共に、内弟子として囲碁を学んだ日々や、一人前の囲碁棋士になるまでの道のりなど
102	51	2016	09月18日	動物写真家	前川貴行	動物写真の醍醐味、作品を通して伝えたいこと、これから撮影したい動物。アメリカやアフリカを主な活動場所として、野生動物をテーマに撮影する魅力など
101	〃	2016	09月11日	〃	〃	クマに魅せられた理由や、アラスカやカナダの極地で撮影する苦労話。山中でクマなどの野生動物と遭遇した時の衝撃や、被写体とどう馴染んでいかなど
100	50	2016	09月04日	京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授	鎌田浩毅	震災後時間を経て風化してしまう我々の防災意識についての考え方や、過去から分かる地震予知、また富士山噴火の可能性について
99	〃	2016	08月28日	〃	〃	火山に興味を持った理由や、学生に授業を楽しんでもらうための秘策、過去を学ぶと見えてくると云う驚愕の地震予知など
98	49	2016	08月21日	元女子サッカー日本代表監督 十文字学園女子大学副学長	佐々木則夫	なでしこジャパンが優勝した当時を振り返りながらアメリカ戦についてや、なでしこジャパンにとってのアメリカチームの存在、2020年に向けての抱負など
97	〃	2016	08月14日	〃	〃	大手通信会社の広報担当だったサラリーマン時代の話や、退社して女子サッカー監督になる決意をした経緯、女子選手たちとの佐々木流のコミュニケーション
96	48	2016	08月07日	水族館プロデューサー	中村元	魅力ある水族館をつくるために何が必要なのか、また本来の水族館の楽しみ方についてや、中村様オススメの水族館について
95	〃	2016	07月24日	〃	〃	魚や海や川の生き物に興味になかった中村様が水族館に就職した理由や、その水族館を辞めて、水族館プロデューサーになっていった経緯など
94	47	2016	07月21日	慶應義塾大学環境情報学部長兼 慶應義塾大学環境情報学部教授	村井純	「ベンチャー起業家王国」とも呼ばれる慶應大学SFC。SFCではどのようにして社会の問題を発見・解決していく実践型人材や社会変革者を生み出し続けているのか、SFC独自の人材育成法など
93	〃	2016	07月17日	〃	〃	日本におけるインターネット環境を作り上げた村井様に、インターネット黎明期に目指したものを振り返りながら、インターネット環境の現在と未来をどう見ている
92	46	2016	07月03日	作詞家、作家、プロデューサー	阿木燿子	ご主人の宇崎竜童様と共に、山口百恵様の曲の作詞・作曲を手掛け、黄金時代を支えてこられた当時を振り返りながら、ご夫妻でこれからやっていきたい夢な



放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
91	〃	2016	06月26日	〃	〃	作詞家デビューの話、山口百恵様との出会い、多くのアーティストに詞を提供、数々のヒット曲を持ち、その曲に込めた思いなど
90	45	2016	06月19日	理化学研究所理事長	松本紘	ハンディーキャップを持つお子さんを育てられてわかったことや、京都大学時代の仕事、理化学研究所の役割やこれから目指すことなど
89	〃	2016	06月12日	〃	〃	貧しいながらも教育熱心な母の教え、京都大学に入学の経緯や学生時代、京大総長になるまでのエピソード
88	44	2016	06月05日	第一生命経済研究所主席研究員	小谷みどり	日本人独自の二人称の死に対する考え方や、死にかたの質。ご自身の体験から離死別した体験者でつくったという「ボツイチの会」の取り組みなど
87	〃	2016	05月29日	〃	〃	人生の終活を研究するようになった理由や、日本人の死に対する考え方、時代ごとに変化する葬式の考え方や、そうなった社会背景など
86	43	2016	05月22日	漫才師	宮川大助・花子	それぞれ違う師匠のもとで芸人になり、コンビを組むまでの経緯や、結婚して夫婦漫才コンビとして活躍するまで
85	〃	2016	05月15日	〃	〃	度々訪れた夫婦の危機をどう乗り越えてきたのか、子供たちからいかに助けられてきたのかなど
84	42	2016	05月08日	染織研究家	木村孝	京都の染色の家に生まれ、女学校を卒業後、京都新聞の記者を経て渡米。女性染色作家として、きものや帯のデザイン製作を手掛けてこられたキャリアウーマンの先駆けともいえる生き方など
83	〃	2016	05月01日	〃	〃	1920年生まれの木村様に、木村様流の着物の楽しみ方や、歳を重ねたからこそわかったきたと云う着物の魅力、日本の染と織の魅力など
82	41	2016	04月24日	歌手	石川さゆり	歌い方へのこだわりや、時代ごとの歌をまとめる取り組み。石川様が考える歌の役割、日本人の面白さを大切にする姿勢など
81	〃	2016	04月17日	〃	〃	大ヒット曲「津軽海峡冬景色」や「天城越え」をいま改めて聴きながら、歌詞のすばらしさや、どんな心境で歌っていたのか、その知られざる誕生秘話など
80	40	2016	04月10日	ヤオコー会長	川野幸夫	先代の母親の姿を見て当初は小売業を継ぎたくなかったが、司法の世界を東大で勉強して卒業後なぜか小売業を継ぐ気になった理由など
79	〃	2016	04月03日	〃	〃	26年間増収増益を続けてきた背景、独自の個店経営の中身、スタッフの教育方法、心配り、経営哲学など
78	39	2016	03月27日	宮内庁式部職楽部前首席楽長	大窪長夫	海外での宮内庁楽部雅楽演奏会の反響や、宮内庁楽部の仕事内容、代々受け継がれていく楽家制度など
77	〃	2016	03月20日	〃	〃	宮内庁楽部についてや、雅楽楽器についてとその演奏法、宮内庁で続けられてきた雅楽の伝承法など
76	38	2016	03月13日	フリーアナウンサー	沼尾ひろ子	地方のテレビ局を退社後、民放ラジオ局で活躍した当時の話から、脳梗塞の前触れや初期症状、失語症に見舞われたときの心境など
75	〃	2016	03月06日	〃	〃	脳梗塞によって言葉が出ない失語症になった時のショックや、言葉を取り戻すためのリハビリ生活、精神的に不安定だった時期を乗り越えられた理由など
74	37	2016	02月28日	漫画家	柴門ふみ	生まれ故郷の徳島から上京したユニークな理由や、学生時代の思い出、意外な作品の描き方、ユニークな結婚観など
73	〃	2016	02月21日	〃	〃	代表作「東京ラブストーリー」を描かれたころの思い出や、漫画家としてデビューした当時の話や、独自の恋愛観など
72	36	2016	02月14日	日本私立学校振興・共済事業団理事長	河田悌一	これからの米中や日中関係について、また今後、日本が中国に対してとるべき三国志の時代から国際政治をしてきた中国に対しての戦略など
71	〃	2016	02月07日	〃	〃	関西大学学長から今の仕事に移られた中国の思想史の専門家の河田様に最近の中国を見て感じることや、中国の魅力など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
70	35	2016	01月31日	ノンフィクション作家	半藤一利	新潟で終戦を迎えた頃の思いや、旧制高校から東大までの学生時代の話。文芸春秋に就職した意外な経緯や、最近のジャーナリズムなどについて
69	"	2016	01月24日	"	"	「歴史探偵」という言葉についてや、戦後70年を振り返っての思い、代表作「ノモンハン」の夏を書いた頃のエピソードや宮部みゆきさんとの徹底討論「昭和史の10大事件」(東京書籍)に関するお話など
68	34	2016	01月17日	映画監督	滝田洋二郎	映画「おくりびと」の企画を見た後、納棺師という職業を取材に行った時の話、監督が作品に込めた思いやモントリオール映画祭でグランプリを受賞してからの変
67	"	2016	01月10日	"	"	若い頃、映画監督になるためにピンク映画の世界に飛び込んだ頃の話や、ピンク映画の世界で出会った巨匠監督たちとの思い出、世界が映画人として向かい入れてくれた気がした瞬間の話など
66	33	2016	01月03日	アース製薬 研究部生物飼育課係長	有吉立	ゴキブリを匂いで嗅ぎ分けられるという有吉様にゴキブリの歴史や飼育の目的、ゴキブリ以外の蚊や、ムカデの飼育方法など害虫飼育の現場に関することなど
65	"	2015	12月27日	"	"	美大生だった有吉さんが、ゴキブリなど害虫の飼育をする仕事に就いた理由や、だんだんその世界に魅せられていったと仰る飼育現場の舞台裏
64	32	2015	12月20日	歌舞伎俳優	中村芝雀	来春の五代目雀右衛門襲名に当たっての思いやプレッシャー、歌舞伎に女形が誕生した背景や独自の美意識が誕生した発展過程、意外な歌舞伎の歴史など
63	"	2015	12月13日	"	"	歌舞伎の家に生まれ女形の役者になる決意をした経緯や、女形ならではの所作や踊りを学ぶ大変さ、役者修行など
62	31	2015	12月06日	テレビプロデューサー、舞台演出家	石井ふく子	戦争と不倫を描いたドラマだけはやらないという理由や、踊りの師匠になりたかった頃の話や、女優や住宅メーカーを経て、テレビ業界に入った波乱万丈の
61	"	2015	11月29日	"	"	テレビドラマの創生期、生放送でドラマを制作していた頃のサスペンス話や、山本周五郎氏など有名作家を口説いた時のエピソードなど
60	30	2015	11月22日	水中写真家	中村征夫	東京湾に潜って写真を撮るようになった経緯や、海の生き物たちから教わったこと。海の中を見てきたからこそ感じる世界の海の移り変わりなど
59	"	2015	11月15日	"	"	サラリーマン生活から転身、水中写真家の道を歩み始めた当時の話や、きれいな海で美女を撮る仕事から一転、ヘドロの東京湾に潜る仕事を始めた経緯など
58	29	2015	11月12日	長野オリンピック スピードスケート銅メダリスト	岡崎朋美	5大会連続で出場したオリンピックの舞台裏や、女子スピードスケート界を牽引する選手として不動の地位を築くまでの選手生活と結婚、そして今後
57	"	2015	11月01日	"	"	北海道に生まれ育ち、スケートを始めて選手になるまでの生活や、世界の舞台で活躍するようになるまでの人生観など
56	28	2015	10月30日	女優	鳳蘭	宝塚のトップスターになって「ベルばら」で一世風靡した当時の話や、親の薦めで結婚したもののすぐに離婚、子どもを引き取るまでの壮絶な人生など
55	"	2015	10月18日	"	"	中国人のご両親のもとに育ち、親に内緒で宝塚歌劇団に入った経緯や、入団してから劣等生だったにもかかわらずトップスターになったことなど
54	27	2015	10月11日	文楽 人形主遣い	吉田玉男	吉田玉女改め二代目吉田玉男へ、二代目を襲名してからの芸の道。戦後の人形浄瑠璃文楽を牽引した人形遣い 初代・吉田玉男の芸を吉田玉女改め二代目吉田玉男として、どう受継いでいくのかなど
53	"	2015	10月04日	"	"	初めはアルバイトから文楽の世界に入り、35年以上師匠の芸をそばで見つめた修行生活から、文楽史に燦然と輝く名跡を二代目として襲名するまでなど
52	26	2015	09月27日	京都大学人文科学研究所 教授	山室信一	恩師・丸山眞男氏から学んだものの見方、思考の楽しさについてや、フィールドワークを大切にしている理由、アジアを皮膚感覚で知る政治家が居なくなった今こそ考えるべきことなど
51	"	2015	09月20日	"	"	今の時代の特色や人々の動きについて、かつてと比較しながらどう考えるべきかなど

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
50	25	2015	09月13日	作曲家	弦哲也	石川さゆり氏の大ヒット曲「天城越え」の誕生エピソードから、石原裕次郎氏や美空ひばり氏にとって最期の曲となった舞台裏など
49	〃	2015	09月06日	〃	〃	歌手を目指して上京し、歌手から作曲家に転身を決意した北島三郎氏との出会い、大ヒット曲「与作」の誕生秘話など
48	24	2015	08月30日	歴史学者/東京経済大学名誉教授	色川大吉	社会運動にのめり込んでいった理由や、60年安保と今の安保法制に対する民衆の違い、水俣の漁民たちの生活史を聴いてまとめる活動など
47	〃	2015	08月23日	〃	〃	あえて地方の山村へ行き教師として民衆史を研究した経緯や、東京に戻ってきてから芝居の世界に身を置いたり、自分史と云う言葉をつくった頃のお話など
46	23	2015	08月16日	東京・南麻布「分とく山」総料理長	野崎洋光	上京後、料理人修行で朝から夜中まで働いた時代の話や、人生を変えた師との出会い。ユネスコの無形文化遺産に登録された日本食。今の和食ブームに浮かれていていいのかなど
45	〃	2015	08月09日	〃	〃	福島の代々農家で育ち、小学生の頃から台所に立っていた野崎さんが料理人を目指した理由。家庭料理と料理屋の料理には別のルールがあるなど、食文化に対する哲学など
44	22	2015	08月02日	国立情報学研究所 教授	新井紀子	ロボットは東大に入れるか(東ロボ君)というプロジェクトについてや、現時点でのロボットの学力、意外な人工知能の仕組みについてや、その研究で将来分かることなど
43	〃	2015	07月26日	〃	〃	大学で文系学科に入ったにもかかわらず、数学の面白さに魅せられてアメリカに留学した話や、数学者への道を諦め、その後情報学の世界に転向した経緯など
42	21	2015	07月19日	歌人	岡井隆	歌人の家に生まれ医学部に進学後、医師としてのキャリアや歌壇での名声を捨てて「蒸発」したこともある有為転変の人生観など
41	〃	2015	07月12日	〃	〃	宮中歌会始の元選者として、選者の仕事についてや、宮内庁御用掛を務め、天皇皇后両陛下など皇族方に和歌の指導をされる際のエピソードなど
40	20	2015	07月05日	長宗我部家17代目当主	長宗我部友親	学生時代に芝居にのめり込み、卒業後メディアで仕事をして、自らのルーツについて「封印」してきたと云う人生観など
39	〃	2015	06月28日	〃	〃	四国統一をなしとげ、天下を夢みるも、関ヶ原の戦いに敗れ、大坂夏の陣で徳川家康により本流が絶える長宗我部家についてや、ルーツの封印解き、一族の秘話を発掘していると云う人生観など
38	19	2015	06月21日	歌手	デューク・エイセス	4人の男性コーラスグループで歌い続けてこられた舞台裏のエピソードや、結成60年を迎えて作られた曲や、これからの音楽活動など
37	〃	2015	06月14日	〃	〃	結成当時(今年で結成60年)のエピソードから、男性コーラスの魅力に拘ってきた理由。ジャズをはじめ、多彩なジャンルに挑戦し続けてきた活動を振り返って
36	18	2015	06月07日	弁護士	木村晋介	20年前の地下鉄サリン事件で、いまだ後遺症に苦しむ被害者の方々を支援する活動や、オウム事件の坂本弁護士一家救出運動などについて
35	〃	2015	05月31日	〃	〃	作家 椎名誠氏らと同じ宿で共同生活を送ったという学生時代の話から多芸な一面、消費者問題、犯罪被害者支援問題などに深く関わってこられた弁護士の仕事について
34	17	2015	05月24日	法政大学 総長	田中優子	江戸文学に興味を持った理由や、江戸時代の人々にひかれた経緯、江戸時代の優れた文化がどこから入ってきたのかなど、江戸文化研究の魅力について
33	〃	2015	05月17日	〃	〃	東京六大学初の女性トップ誕生と注目され就任から1年あまり、法政大学の将来構想や、ご自身が学生運動に参加していた頃の思い出など
32	16	2015	05月10日	女優	富士真奈美	女優という仕事に執着はなかったし、いつでもやめられると思っていたという理由や、仕事も欲を持たず、あくせくしない人生観など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
31	〃	2015	05月03日	〃	〃	子供の頃から好きなものは、オペラと俳句と野球と仰る富士氏に、俳句を始められたキッカケや魅力、句会を通しての人生の楽しみ方などを伺う
30	15	2015	04月26日	漫画家	松本零士	漫画家を目指して上京した当時の破天荒なアパート生活や、松本アニメブームを巻き起こしてきた奇想天外な漫画家人生など
29	〃	2015	04月19日	〃	〃	5歳の頃からアニメに興味を持っていた少年時代の話や、終戦後、父上から教わったこと、火星や宇宙への憧れなどについて
28	14	2015	04月12日	作家	朝井まかて	井原西鶴をテーマにした作品※2を書こうとされた経緯や、コピーライターから作家に転身された理由など
27	〃	2015	04月05日	〃	〃	候補になることもないままいきなり直木賞を受賞した時の話や、江戸時代の園芸を題材にした作品を書こうと思った理由など
26	13	2015	03月29日	アコーディオニスト	coba	イタリアに留学し、アコーディオンコンクールで世界一になり帰国。最初は、全くオファーがなかったもののある日を境に一躍時の人に。それから今日を迎えるまでのアコーディオニスト人生など
25	〃	2015	03月22日	〃	〃	日本では余り知られていなかった楽器アコーディオンの魅力にはまった理由や、世界一のアコーディオニストになるまでの努力や、留学エピソードなど
24	12	2015	03月15日	声楽家	安田祥子	別々の音楽の道を歩んでいた姉妹が一緒に童謡唱歌を歌うようプロデュースしたお母様の思い出や、新しいスタイルのコンサートを始めた頃のエピソードなど
23	〃	2015	03月08日	〃	〃	児童合唱団から歌を習い始め声楽家の道を歩んでこられた安田さんが、由紀さおりさんと姉妹で童謡を歌う決断をされた経緯など
22	11	2015	03月01日	タレント	西川きよし	やすきよ漫才の誕生秘話から、奥様ヘレンさんとの出会いから結婚。政界に入った経緯や議員人生、これからの生き方論など
21	〃	2015	02月22日	〃	〃	自動車修理の仕事から芸能界に転身した経緯や、吉本新喜劇に入ってからの下積み生活、横山やすしさんとの出会いなど
20	10	2015	02月15日	作家	佐藤愛子	同人誌に参加し、自分の作品を出版社に売り込み直木賞を受賞。夫の借金返済のために書き続けたという作家生活など
19	〃	2015	02月08日	〃	〃	数十年前に直木賞をとった小説の続編を最近書かれた理由や、若いころ小説家になろうと決めた意外なきっかけなど
18	9	2015	02月01日	プロサッカー選手	柴村直弥	サッカーの技術を磨くために、海外のサッカーチームを転戦しながら、自分の可能性を試し続けるサッカー選手人生
17	〃	2015	01月25日	〃	〃	日本を離れて、ラトビアやウズベキスタンなどで、自分の可能性を試すために次から次へと海外を遠征し続けているサッカー選手生活など
16	8	2015	01月18日	同志社大学局員教授・ 京都女子大学客員教授	橋木俊詔	灘高に進学したことが、人生の不幸の始まりと仰る理由。欧米に留学した頃の学生時代のエピソードと、最近の学生を比較してどう思われているかなど
15	〃	2015	01月11日	〃	〃	格差社会という言葉の生みの親である橋木氏。一億総中流社会になった今でも貧富の格差が広がっている理由や、格差社会をテーマに研究して本を書こうと思われた経緯など
14	7	2015	01月04日	相撲親方(元横綱武蔵丸)	武蔵川光偉	相撲を通して「我慢して人間努力すれば、必ず成功出来る」ことを学んだという親方に、武蔵川部屋を引き継ぎ15代武蔵川親方として弟子の育成に励む日々など
13	〃	2014	12月28日	〃	〃	ハワイでは、バスケットボール、アメリカンフットボールなどに熱中していた少年が、相撲を勧められて来日後、初土俵を踏み、横綱になるまでの苦労話や、外国出身では、先代東関親方＝高見山以来2人目の師匠となった相撲人生など

放送回数	ゲスト人数	年度	放送日	ゲスト(敬称略)		内容
12	6	2014	12月26日	佐倉アスリート倶楽部代表	小出義雄	有森裕子氏ら五輪メダリストを育てた時のエピソードや、人並み外れた情熱で大学に入りながら、最後に満たされなかった思いによって監督時代の飽くなき勝利への追求につながったという人生観など
11	〃	2014	12月21日	〃	〃	「もう一つ金メダルを取りたいんだよ。」81歳になる6年後に夢をかける小出監督。シドニー五輪女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんとのマラソン人生など
10	5	2014	12月07日	棋士(囲碁)	趙治勲	門下生として師匠に入門後の生活や囲碁の戦略の学び方、人生の転機の一つである交通事故にあった時の話など
9	〃	2014	11月30日	〃	〃	独特のキャラクターで知られる趙氏が、6歳で来日してから有名師匠の門下生として、有名棋士たちと切磋琢磨してきた棋士人生など
8	4	2014	11月23日	作家	山口恵以子	松本清張賞の受賞を機に複数の出版社から声が掛かり、この春から作家活動に専念。気鋭の作家として注目を集める今、今後の作家人生など
7	〃	2014	11月16日	〃	〃	派遣社員から二時間ドラマのプロット作家、松本清張賞を受賞するまで、その壮絶な人生などにつきお伺いいたしました。次週も山口氏をゲストにお迎えし、松本清張賞の受賞を機に複数の出版社から声が掛かり、この春から作家活動に専念。気鋭の作家として注目を集める今、今後の作家人生など
6	3	2014	11月09日	海洋堂 代表取締役 (海洋堂ホビー館四万十 館長)	宮脇修	今や世界的フィギュアメーカーとなった海洋堂社の独自の経営戦略に迫ります。美少女や動物などの原型師を仕事の有無に関わらず雇用し続けたことや、彼らをアーティストと呼べるレベルにまで高めてきたことなど
5	〃	2014	11月02日	〃	〃	若くしてプラモデル店を始めた経緯や、世界的な有名博物館などに、多くのフィギュアを納入出来るようになるまでの売り込み秘話など
4	2	2014	10月26日	吉野家ホールディングス会長	安部修仁	牛丼を値上げするためのメニューづくりや、旨い安い早いからの脱却経営。42年半の会社生活のうち、22年間社長に就いてきた牛丼人生
3	〃	2014	10月19日	〃	〃	創業者と共に進めた牛丼店の店づくりや、全国展開を始めた当時のエピソード。牛肉をめぐる幾度も押し寄せた荒波を乗り越え続けた経営者人生
2	1	2014	10月12日	歌手	ペギー葉山	学生時代に米軍キャンプで歌われていた頃のエピソードや、亡き夫俳優の根上淳さんとの出会いから闘病生活まで
1	〃	2014	10月05日	〃	〃	「ドレミの歌」の日本語歌詞を作った時のエピソードや、多くの反戦歌を歌ってこられた理由、歌手生活61年目の心境など